

ますことから、引き続き行財政改革を推進していかねばならないところであり、平成18年に策定いたしました「新行財政改革大綱5カ年計画」（集中改革プラン）は、本年3月で計画期間が満了になりますので、引き続き行財政改革を推進するため、速やかに第二次集中改革プランの策定に取り組み、進捗管理を着実に進め、健全な財政運営に努めてまいります。

### 学校施設の整備

次に、将来、町の次代を担う子供たちが、充実した環境の下で学習するための「学校施設の整備」についてであります。

町といたしましては、老朽化した中学校校舎の耐震化に伴う改築について、財政が厳しい状況下から有効な制度や改修方法等について、国や道に対して要望をしております。また、国の平成21年度第1次補正予算による補助事業に採択され、財源確保ができたところから、平成21年度繰越事業として、平成22年2月

に改築工事に着手したところであり、平成23年2月の完成を目指して、充実した学習環境の整備を進めてまいります。

### 光通信施設網等の整備

次に、高速ブロードバンドサービス利用区域の拡大と町内に点在するテレビ放送の難視聴解消のための施設整備についてであります。

本町の高速インターネットサービス利用区域は、現在幾寅市街地と一部の東鹿越地域となっており、住民から利用区域の拡大を強く求められているところであり、また、テレビ放送が平成23年7月より現在のアナログ放送から地上波デジタル放送に移行されますが、本町には現時点においても難視聴世帯が点在しており、地上波デジタル放送に移行後も難視聴世帯が解消されない見込みであります。

このような状況を踏まえ、これからの高度情報化社会を見据え、光ファイバーによる通信施設網等の整備を実施するため、国の平成21年度第1次補正予算による交付金を受

けて、平成23年4月の供用開始を目指し、現在工事に着手したところであり、本事業により、高速インターネットサービス利用区域が全町的に拡大し、併せて地上波デジタル放送移行後の難視聴が全て解消され、都市との情報格差及び町内での情報格差を解消し、均衡のとれた住民生活の利便性の向上を図ってまいります。

### 定住者の拡大と農業の振興

次に「定住者の拡大と農業振興」についてであります。農業基盤の強化と雇用の創出による地域の活性化を目的にふらの農業協同組合による「ポテトチップス製造施設」は、本年3月から従業員を60人増員し、計130人体制に拡大され、製品が製造されており、



ポテトチップス製造施設「シレラ富良野」の様子

町といたしましては、定住促進と地域振興の観点から、地元住民の優先雇用と、町外から採用された従業員の本町への居住について、ふらの農業協同組合に対し申し出を行ったところ、町内から41人が雇用され、また、本年4月までに24人の従業員が本町へ移住し、居住することになりましたので、町職員の旧独身寮を活用するなど、住宅を確保し定住者の拡大に努めてまいります。

### 地域医療の充実

次に、診療所の利便性の向上と地域医療の充実についてであります。

地域医療を支えております診療所体制については、現在勤めていただいております幾寅診療所の医師については、3月末をもって退任することとなりました。

後任の医師には、岡山県倉敷市から新たな医師に勤務していただくこととなりますが、4月からは医師2名により幾寅・金山・落合三診療所の経営形態の一体化を図り、各診療所の患者数等の実態にあった診療日時に見直しを行い、効果的・効率的な医療体制の提供と地域事情にあった診療体制の構築を図ってまいります。

また、歯科診療所につきましては、4月より幾寅診療所の隣接地に、新しい施設での

診療を開始することにより、同地区には医療関係施設が1箇所に集約されることとなりますので、より効果的な医療体制の充実と利便性の向上を図ってまいります。

## 第4次総合計画の推進

次に、第4次総合計画を推進する本年度の主要事業を申し上げます。

### うつくしの南富良野 瑞々しい自然のまちづくり

はじめに、自然環境や景観の保全、自然の活用を目指す、うつくしの南富良野―瑞々しい自然のまちづくりであります。

### 自然環境の保全

本町は、広大な森林と清らかな水など優れた自然環境に恵まれた地域であります。この豊かな自然環境は、町民生活の基盤であり、人の心を癒し、潤いを与えてくれる町民全体の貴重な財産であります。この貴重な財産を損なうことなく、自然環境の保全活動やその必要性をより多くの人々に広めていくことが重要であり、次世代に引き継いでいかなければなりません。

本年度も、フォレストタウン記念植樹祭、北海道日本ハム球団現役プロ野球選手を招いてのアオダモ記念植樹や野球教室、滝川市ボランティアグループとの水源の森創造交流会を開催すると共に、「山川草木を育てる集い」南富良野協会の皆さんにより「エンジンバラ公の森公園」の環境整備活動を支援し、自然環境の保全に努めてまいります。

### イトウの保護管理

また、本町の優れた自然環



イトウのペアリング

境の象徴的存在である、かなやま湖に生息するイトウを、町並びに町民の皆様が一体となり、町民共有の財産として次世代に継承することを目的に、「南富良野町イトウ保護管理条例」を昨年4月に制定いたしました。今後、引き続き適正な保護管理を行うために所要の予算を計上いたしました。

### にぎわいの南富良野 誇れる産業のまちづくり

次に、農業・林業・木工・商工業・労働など、個性と工夫にあふれる地域産業を目指す、

にぎわいの南富良野―誇れる産業のまちづくりであります。

### 農業の振興

はじめに農業の振興であります。

国は「新たな食料・農業・農村基本計画」の策定に向けて、新たな視点から現行基本計画を見直すべく検討を行っているところであり、その中でも食料自給率50%達成に向け、その実現の可能性や国民負担なども含め議論を行っています。

また、平成22年度からの戸別所得補償制度の導入や食料供給力向上対策、農山漁村の活性化対策など、新たな農政の枠組みについて検討を進めているところ。しかし、長期化するデフレ基調のもとで食料品の消費も伸び悩み、農産物価格も低迷が続いており、更に、農業者の減少、担い手の高齢化、農薬・肥料等、生産資材の高騰は農業経営を圧迫するなど、

農業を取り巻く環境は悪化し、加えて、昨年は日照不足や長雨による湿害に見舞われ、本



大型収穫機を使用した加工用馬鈴薯収穫風景

町の農業経営者にとっては厳しい一年でした。

このような情勢の中、本年度の農業振興施策については、農業者からの要望や農業委員会の建議も踏まえ、本町の「農業経営基盤強化促進基本構想」に掲げる安定した農業経営の推進を図るべく、農業協同組合や農業団体、関係機関とより一層の連携と協力を強めてまいります。

特定中山間保全整備事業及び道営中山間地域総合整備事業につきましては、区画整理や暗渠排水整備などのほか、